

2008年3月期 第1四半期決算説明会

2007年7月27日

日本郵船(株)



NYKLINE
NIPPON YUSEN KAISHA

目次

- 1) 07 / 6期 決算 (P.2 – P.5)
- 2) 08 / 3期 業績予想 (P.6 – P.8)
- 3) セグメント別状況 (P.9 – P.12)
 - 航空運送事業 (P.13 – P.16)

07 / 6期 決算サマリー

- 1) 前年同期比 売上高+15%、**経常利益2倍** の増収増益
(億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
06/6期		5,248		225		223		124	
07/6期		6,014		393		445		286	
増減	%	766	15%	168	75%	222	99%	163	132%

- 2) 海運部門 : **海運業合計で 220億円の増益**
- 3) 非海運部門 : 主要3部門合計で 18億円の増益
非海運6部門(含むNCA)合計では横這い
- 4) 為替・燃料油 : (06/6期 vs 07/6期・第1四半期実績比較)
 為替レート 5.14円の円安 (114.71円 119.85円)
 燃料油価格 \$6.55/MT安 (\$336.82/MT \$330.27/MT)

前年比増減分析

(億円)

円安	19	今期 119.85円 / 5.14円の円安
燃料油安	5	今期 \$330.27/ \$6.55の燃料油安
海運市況変動など	158	
非海運部門	3	新規連結 +5億を除く
コスト削減	28	海運 25億円、非海運 3億円
新規連結	15	海運 10億円、非海運 5億円
合計	222	

経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円安で約15 億円の増益

燃料油 \$ 1/MTの燃料油価格上昇で約 3 億円の減益

07 / 6期・前年同期比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
06/6月期	1,462	1,887	1,107	300	112	244	28	437	329	5,248
07/6月期	1,551	2,327	1,277	379	130	224	27	452	355	6,014
増減	90	441	170	79	18	19	1	15	26	766

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
06/6月期	39	235	33	11	12	40	10	1	0	223
07/6月期	25	392	35	17	22	57	10	2	0	445
増減	64	156	2	6	10	17	1	1	0	222

(売上高)	07/6	06/6	増減	増減率
不定期船	2,012	1,598	414	26%
タンカー	315	289	26	9%
計	2,327	1,887	441	23%



上期予想に対する達成度 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
08/3上期予想	2,950	3,820	2,690	680	260	500	55	900	755	11,100
07/6期実績	1,551	2,327	1,277	379	130	224	27	452	355	6,014
達成度	53%	61%	47%	56%	50%	45%	50%	50%	-	54%
Balance	1,399	1,493	1,413	301	130	276	28	448	-	5,086

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
08/3上期予想	5	530	85	32	49	90	17	2	0	625
07/6期実績	25	392	35	17	22	57	10	2	0	445
達成度	497%	74%	41%	51%	45%	-	58%	-	-	71%
Balance	-	138	50	16	27	-	7	-	-	180

(売上高)	07/6期 実績	08/3上期 5/9予想	Balance	達成度
不定期船	2,012	3,260	1,248	62%
タンカー	315	560	245	56%
計	2,327	3,820	1,493	61%

08 / 3期 修正業績予想サマリー

- 1) 業績予想:
売上高 2兆4,100億(期初予想比 + 1,700億 / + 7.6%)、
経常利益 1,550億(同 + 250億 / + 19%)に上方修正
- 2) 海運部門: 定期船は好調な荷動きを反映し + 30億、
その他海運は市況前提を見直し + 260億、
通期の業績予想を上方修正
- 3) 非海運部門: 主要3部門は計画通りの利益成長が続くが、
NCAは市況低迷で 35億業績予想を下方修正
- 4) 為替・燃料油前提
為替レート 2Q : 120円/ドル、下期: 115円/ドル
燃料油価格 2Q-4Q : \$ 370/MT
- 5) 配当予想: 年間18円 / 株(中間9円 + 期末9円)



08 / 3期通期業績予想

(億円)

	期初予想			今回予想			増減 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	11,100	11,300	22,400	12,100	12,000	24,100	1,700 8%
営業利益	660	710	1,370	760	770	1,530	160 12%
経常利益	625	675	1,300	800	750	1,550	250 19%
純利益	400	420	820	520	480	1,000	180 22%

為替
燃料油

¥115.00	¥115.00	¥115.00	¥119.92	¥115.00	¥117.46	¥2.46
\$330.00	\$330.00	\$330.00	\$350.14	\$370.00	\$360.07	\$30.07

08 / 3期 為替 前提 : 2Q:120円/\$、下期:115円/\$
 08 / 3期 燃料油価格 前提 : 2Q - 4Q \$370/MT



08 / 3期・通期業績予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
期初予想	5,920	7,730	5,530	1,330	470	1,040	110	1,810	1,540	22,400
今回予想	6,450	8,950	5,530	1,420	470	1,000	110	1,890	1,720	24,100
上期予想	3,180	4,650	2,680	740	260	460	55	940	865	12,100
下期予想	3,270	4,300	2,850	680	210	540	55	950	855	12,000
増減	530	1,220	0	90	0	40	0	80	180	1,700

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
期初予想	20	1,090	210	65	50	155	30	10	0	1,300
今回予想	50	1,350	210	65	50	190	35	20	0	1,550
上期予想	40	700	85	35	49	115	19	12	0	800
下期予想	10	650	125	30	1	75	16	8	0	750
増減	30	260	0	0	0	35	5	10	0	250

(売上高)	今回予想	前回予想	増減	増減率
不定期船	7,755	6,580	1,175	18%
タンカー	1,195	1,150	45	4%
	8,950	7,730	1,220	16%

セグメント別状況

1. 海運業 - 1)

コンテナ船：欧州・中南米航路の荷動き好調

輸送量実績(千TEU)

	06/4-6 (実)	07/4-6 (実)	増減	(%)	06/4-9 (実)	07/4-9 (予)	増減	(%)	07/3期 通期(実)	08/3期 通期(予)	増減	(%)
アジア 北米	177	180	3	1.5%	367	391	23	6.4%	704	799	95	13.5%
(消席率)	84%	85%			88%	88%			85%	88%		
アジア 欧州	118	129	12	9.9%	234	269	35	15.1%	466	570	104	22.3%
(消席率)	93%	92%			93%	93%			93%	93%		

* 欧州航路は2007年3月期実績数値より域内航路を除外した為、一部Restate値となっています。

自動車船：荷動き増加傾向続く

輸送台数実績(万台)

	06/4-6 (実)	07/4-6 (実)	増減	06/4-9 (実)	07/4-9 (予)	増減	07/3期 通期(実)	08/3期 通期(予)	増減	(%)
全航路	78	80	2	156	161	5	318	331	13	4.1%

* 計上基準変更の影響で、07/3期実績はRestate値となっています。

セグメント別状況

1. 海運業 - 2)

バルク・エネルギー輸送部門の市況動向(指数)

	07 / 3期			08 / 3期			
	上期 (実績)	下期 (実績)	通期 (実績)	1Q (実績)	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)
ばら積船(ケープサイズ)	63	105	84	147	126	106	116
ばら積船(ハンディサイズ)	81	104	92	126	111	96	104
VLCC	67	47	57	48	43	54	48

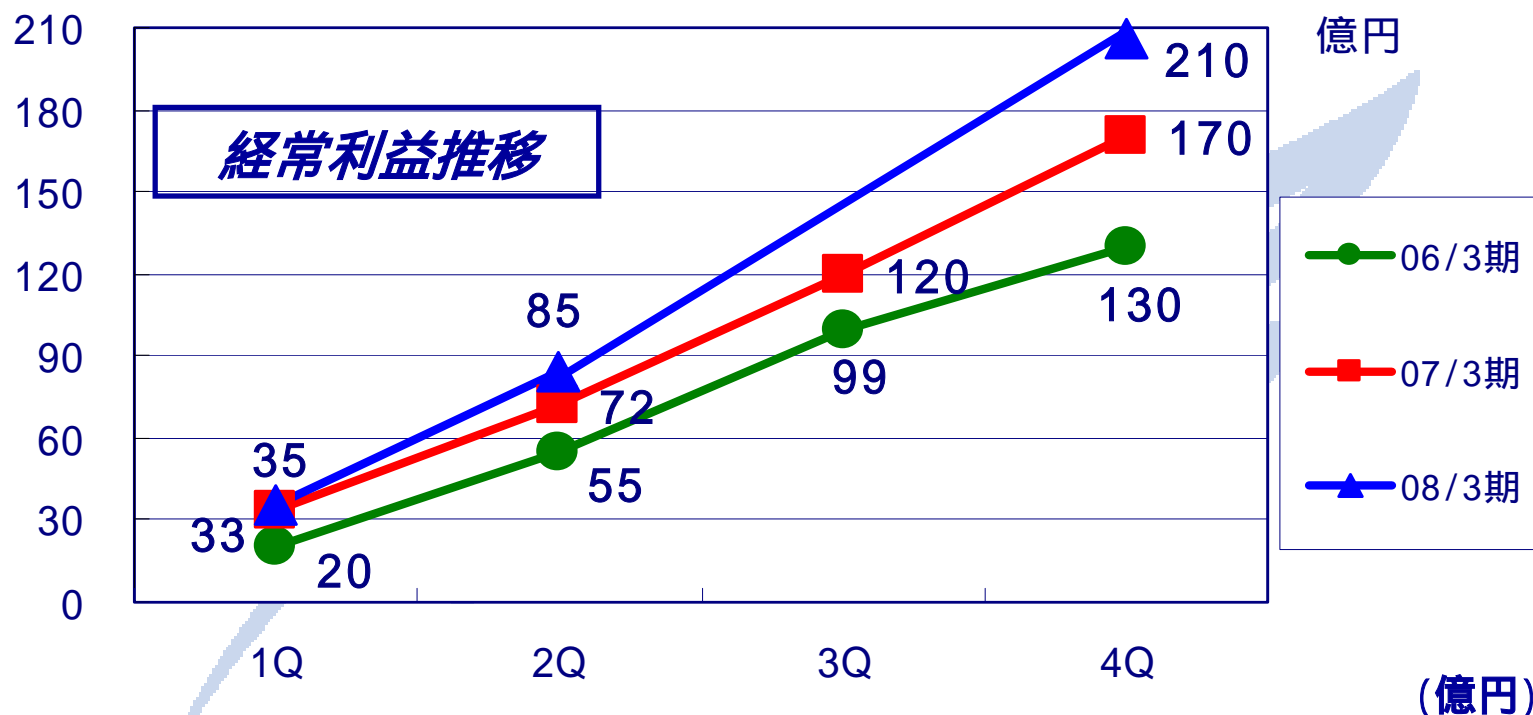
05 / 3期実績を100とした指数表示

撒積船 : 1Qの好調な市況を反映し、市況前提を上方修正。

タンカー : 1Qは想定の水準ながら通期前提は若干下方修正。

セグメント別状況

2. 物流事業： 中期経営計画に則った利益成長が続く。



08/3期 経常利益予想	1Q(実)	上期(予)	下期(予)	通期(予)
NYK Logistics部門	13	38	57	95
Air Forwarding部門	22	47	68	115
Total	35	85	125	210

セグメント別状況

3. ターミナル関連事業

- 1) 北米YTI (ロサンゼルス) / CTI (北米セレス) :
北米ターミナルは、取扱高が前年実績を上回る。
- 2) CTE (欧州セレス) :
取扱高は期初予想通りで推移し、業績が上向く。

4. 客船事業

- 1) **飛鳥** は、乗船率・運賃単価ともに好調維持。
- 2) **クリスタル** は、米国の高級マーケットが予想以上に好調、収益拡大に寄与。



航空運送事業 (NCA)

1) 08/3期修正予想の期初予想比較

(億円)

	08/3期 期初予想			08/3期 修正予想			
	上期	下期		1Q	上期	下期	
売上高	500	540	1,040	224	460	540	1,000
経常損益	90	65	155	57	115	75	190
MOPS	\$75			\$84	\$85	\$85	\$85

- ・ 日本発着のマーケットは引き続き低迷
- ・ 燃料費の高騰
- ・ 自立化プロセスはスケジュール通りに進行

航空運送事業 (NCA)

2) 08/3期予想と Phoenix Project 2.0 (Phase-1) (億円)

	NCA Phoenix Project 2.0 (Phase-1)				(Phase-2)	
	07/3期 実績	08/3期 修正予想			09/3期 予想	10/3期 予想
		上期	下期			
売上高	970	460	540	1,000	1,127	1,300
経常利益	181	115	75	190	63	10
MOPS	\$80.35	\$84.50			\$75.00	\$75.00

- ・ 機材更新・自立化を着実に進め、09/3期下期・収支均衡化、10/3期・黒字化の目標は変わらず

航空運送事業 (NCA)

3) 航路別 L/F の推移

	08/3期 期初予想	08/3期 今回予想			
		1Q(実)	上期(予)	下期(予)	
アジア 北米	98%	98%	99%	96%	97%
北米 アジア	79%	80%	80%	81%	81%
アジア 欧州	100%	97%	99%	101%	100%
欧州 アジア	95%	85%	89%	98%	94%
日本 アジア アジア域内	71%	69%	66%	69%	68%
アジア 日本	79%	72%	72%	78%	75%
全航路平均	83%	80%	79%	82%	81%

アジア/日本 北米の積高を合算した物量によるL/F

L/F = Gross Chargeable Weight/ACL (Available Cabin Load)

航空運送事業 (NCA)

4) Phoenix Project 2.0 の機材計画

(機数)	06/3期	Phase-1			Phase-2				Phase-3	
		07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期		16/3期
B747-200F	10	5	3							
B747-400F	2	4	6	10	10	10	10	10		10
B747-8F					2	5	8	11		14
他社スペース		2	2.5	3	3	3				
合計	12	11	12	13	15	18	18	21		24

(自社機材)

平均機齢(年度末)	16.1	11.4	7.8	1.9	2.4	2.8	3.3	3.7		6.2
平均稼働時間/日	12.2	11.1	11.4	12.6	12.0	12.8	13.2	13.2		13.2

(運航効率)

運航コスト/ATK	100	113	108	92	85	80	76	75		72
-----------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	--	----